

まち八王子南 信崎 環さん

生産者のみなさんは稲作の他に、大豆や長ネギなどを各々出荷されており、のんびりできる期間が無いこと、そんな中で時間を作って旅行など楽しまれていることがわかりました。お土産にいただいたお米はとても美味しかったです。ありがとうございました。どてはら会の皆さんが丹精込めて育ててくださったお米を食べ支えたいです。生産者との交流の機会を与えてくださり誠にありがとうございました。

まち目黒 増茂しのぶさん

稲刈り交流会の終了時には、お米のお土産を一人ひとりに用意してくださっていて、忙しい中ここまで準備してくださったことに感謝の気持ちでいっぱいになりました。同時に、「私たちは受け取るだけでなく、何かアクションを起こさなくては」と強く思いました。「息子や娘には農業を継がせたくない」と感じる方が多い現状をどうすれば変えられるのか。生活クラブだけでは難しいかもしれませんが、一緒にできること、また支えることを探していきたいと改めて思いました。

まちすぎなみ北 向井温夏さん

米作りのご苦労と喜びを直接うかがい、どてはら会の皆さんへの敬意と感謝がさらに深まった2日間でした。女性部の皆さんと米の適正価格についてや農作業時の工夫、日々の暮らしのことまで幅広くお話しできたことも心に残りました。ありがとうございました。



まちすぎなみ北 松尾千聖さん

日帰りの稲刈り交流会に初めて参加しました。鎌で稲を刈って藁で縛り3対7で穂をわけ逆さまにして干す一連の流れを体験しました。稲は鎌でサクッと気持ちよく刈ることができ気持ちよかったです。生産者の方が簡単に藁で結んだ作業に最初は苦戦してしまいましたが徐々に出来るようになってくるととても楽しく、コンバインによる収穫を目の前で見ることができたのもとても貴重な体験だなと感じました。田んぼの横を流れる水がとても綺麗だったのが印象的で素敵な時間を過ごすことができとても楽しかったです。



Q なぜ稲を逆さに干すのですか？

A. 逆さにした方が雨が降った時に水分がたまらなく乾きやすい為です。

Q 大変なことは何ですか？

A. カメムシが越冬し増えてきていることです。稲にカメムシがつき吸汁によって斑点米になり、お米の品質を低下させてしまうからです。



ぜひ那須山麓米の生産者にメッセージを！（しめ縄作りの感想も大丈夫です）

12/25締切

生産者との約束

* 2023年度まではいつも約束の量を食べていませんでした

約束の量を
買い取る責任

こういうのが食べたいです
・安全な肥料や土壌で作って欲しい
・田んぼを守りたい



組合員

一緒に話し合い・開発

この価格・
契約数量ならOKです

* 「共同開発米」を安定供給していくために、組合員が「わたしたちの米」として、ひとり1人が1年間食べる量を考えて予約すること。出来る限り1年間で食べることが大切です。その数が産地の生産基盤を支える力になります。



生産者

情報公開
生活クラブの基準を守る